

すずがも通信

2018年2月11日発行

ISSN 2185 632X



スタッフ撮影

☆表紙の写真を募集しています。あなたの力作をお待ちしています♪

※全て載せられるわけではありません。また、スタッフの独断で選ばせて頂きますのでご了承ください。

「私は元気です」 / 野鳥救護につき

保護区の鳥の様子

保護区の作業

観察舎の現状

来年度イベント情報

寂しい季節? / (昆)虫班



元旦 初日の出



遅ればせながら、明けましておめでとうございます。
元旦は良く晴れて、素晴らしい初日の出が見られました。



たくさんの方が見に来られました



野鳥救護につき

私は元気です。

7月20日に保護されたアカハラ。行徳では秋から冬によく見られる鳥なのですが、夏に保護された珍しい個体。

保護時は目立った外傷はなく、左の翼がちょっと下がりが味で、爪もクチバシも伸び放題と飼育されていた様子があるものの、あまり人馴れはしていなかったためアカハラのシーズンを待って放鳥できました。放鳥から2ヶ月ほど経ちましたが、観察舎周辺でガサゴソしている姿を見かけます。

これからまた寒くなるので心配ですが、保護された鳥が回復してたくましく野生で過ごしている姿を見られるのはうれしいです。



11・12月 保護区の鳥の様子 ～今年はスロースタート～

2017年11月から12月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で65種を記録しました。

12月下旬からカワウの営巣が本格的に始まりました。昨年に引き続き営巣の開始時期が一ヶ月ほど遅いようです。スズガモは2007年度以来、10月下旬～11月初旬に600羽～16000羽ほどを記録してきましたが、今期は200羽ほどと少なめです。他のカモ類も全般的に種数・数ともに少ないです。以前はあまり見られなかったセグロセキレイが2014年以来毎冬記録されています。(川上 正敬)

水鳥類

オカヨシガモ	アオサギ
マガモ	ダイサギ
カルガモ	チュウサギ
ハシビロガモ	コサギ
オナガガモ	バン
コガモ	オオバン
ホシハジロ	セイタカシギ
キンクロハジロ	タシギ
スズガモ	アオアシシギ
ウミアイサ	イソシギ
カイツブリ	ユリカモメ
カンムリカイツブリ	ズグロカモメ
ハジロカイツブリ	セグロカモメ
カワウ	

その他小鳥など

キジ	アカハラ
キジバト	ツグミ
カワセミ	ジョウビタキ
コゲラ	スズメ
モズ	キセキレイ
オナガ	ハクセキレイ
ハシボソガラス	セグロセキレイ
ハシブトガラス	タヒバリ
シジュウカラ	カワラヒワ
ヒヨドリ	ベニマシコ
ウグイス	ウソ
メジロ	ホオジロ
セッカ	アオジ
ムクドリ	オオジュリン
シロハラ	ドバト

猛禽類

ミサゴ
チュウヒ
オオタカ
チョウゲンボウ
トビ
ハイタカ
ノスリ
ハヤブサ

ズグロカモメ

12月の半ばごろに、導流堤でしばらく観察されていました。

ユリカモメとそっくりですが、くちばしの色と長さで見分けられます。

ユリカモメ



↑ くちばしが黒くユリカモメより短い

☆最近の保護区作業～水面確保していました～☆

保護区内では最も広いアシやガマ原が広がる北池。夏場に水位が下がることはあっても干上がるようなことはなかったのですが、今年の夏は特に雨が少なかったせいか池の水がほとんどなくなり、水面が広がっていた場所は草原になってしまいました。このままだと冬にカモ類が入りづらくなってしまいますし、すでにアシやガマもだいぶ広がってきていて観察路からの見晴らしも悪くなってきていたので、草刈りをして開けた水面を確保し、ついでに観察をしやすいようにすることに。

7月から8月にかけて草刈機で大々的に刈り進め、一時はかなり開けたもののしばらくするとまた新たに草が伸びてきて9月には再び草原に。10月に入ると台風が何度か通過していったこともあり干上がっていた北池にも水がしっかり溜まり池に戻りました。とはいえ再度伸びてきた草がまだ水面を覆っていたため、今度は胴長をはいて大鎌を使いせっせと刈ることに。11月までかかってやっとある程度見通しの良い水面を確保することができました。これでカモ類が入っても大丈夫・・・と思っていたのですが、今年はカモ類が少なめで主にオオバンやカイツブリ（+チュウビ）が入っているようです。（山口 誠）



7月30日



8月8日



9月29日



10月18日



11月11日

観察舎をとりまく現状

行徳野鳥観察舎を廃止し、その跡地の活用等について県と市で協議することが決まったものの、目立った進展が公表されない中で、平成29年11月26日、市川市長選挙が実施されました。5人が立候補しましたが、いずれも法定得票数に達せず、再選挙が行われることになりました。また、選挙を無効とする異議申出があり、投票用紙の再点検や市職員への聞き取り調査等も行われることになり、再選挙は4月以降になるだろうと報道されています。

観察舎については、今回の選挙では触れない候補が多く共通の争点にはなりませんでしたが、村越祐民候補が観察舎再建を掲げました。

私たちは、行徳鳥獣保護区が大切な資源として評価されることを望んでいます。そのためにも、美しい行徳の原風景を見渡せ、そこに舞う水鳥を（水鳥を驚かせることなく）観察し、多様な自然環境を学べる拠点が何より必要であることを、地域の皆様にも、行政の皆様にも粘り強くお伝えしていきたいと考えています。

今年は、いよいよ観察舎が解体される予定で、それに向けた住民説明会なども行われるとのこと。厳しい状況ではありますが、少しでも多くの皆様にこの場所の価値を知ってほしい、そんな強い想いで観察舎に臨んでいます。 (清水 大吾)

(昆)虫班

寂しい季節？



オオクロカメムシ他

寒いです。

虫たちは姿を消し、
蝶も蜂も飛んでいません。
ただ歩いているだけでは枯野
の広がる冬の保護区です。

視点を変えてみましょう。
落ち葉の下。板や木の皮の下。
日向の草の影……。
いましたいました！
カメムシ、枯れ葉色のバッタ、
小さな蛾。
おまけにザリガニ、ムカデ、
ワラジムシ、カニ、クモ。

たくさんの生き物が隠れていました。それぞれの春を待っています。
無事冬を過ごせますように……。

4月から再開!

江戸前干潟研究学校

4月8日(日) 10時～『水辺の生き物調査』



事前に仕掛けた罟を引き上げて捕れた生き物の種類や数を調べます。

〈集合〉
行徳野鳥観察舎前



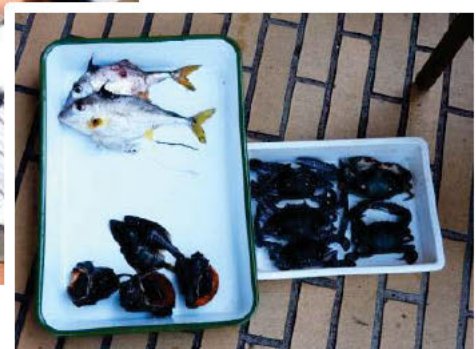
フィールドミュージアム

4月15日(日) 10時～『町田池調査』



人工的に整備された池を、どのような生き物が利用しているか調べます。

〈集合〉
行徳野鳥観察舎前



来年度 上半期のたまかなイベント予定

(フィールドミュージアム、江戸前干潟は毎月開催)

- 4月 桜の花の観察会
- 5月 菖蒲刈り・配布
- 6月 谷津干潟の日(9日、10日)、トビハゼ祭り?
- 7月 夏休み自由研究向けイベント
- 8月 セミ羽化観察会

☆詳しくは友の会(070-1491-9898)までお問い合わせください☆

保護区のキャラクターたち

保護区で生まれた住人たち。閑話にちょっとずつ紹介していきます。

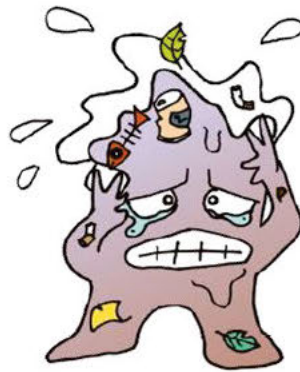
【第一弾】



ユウ



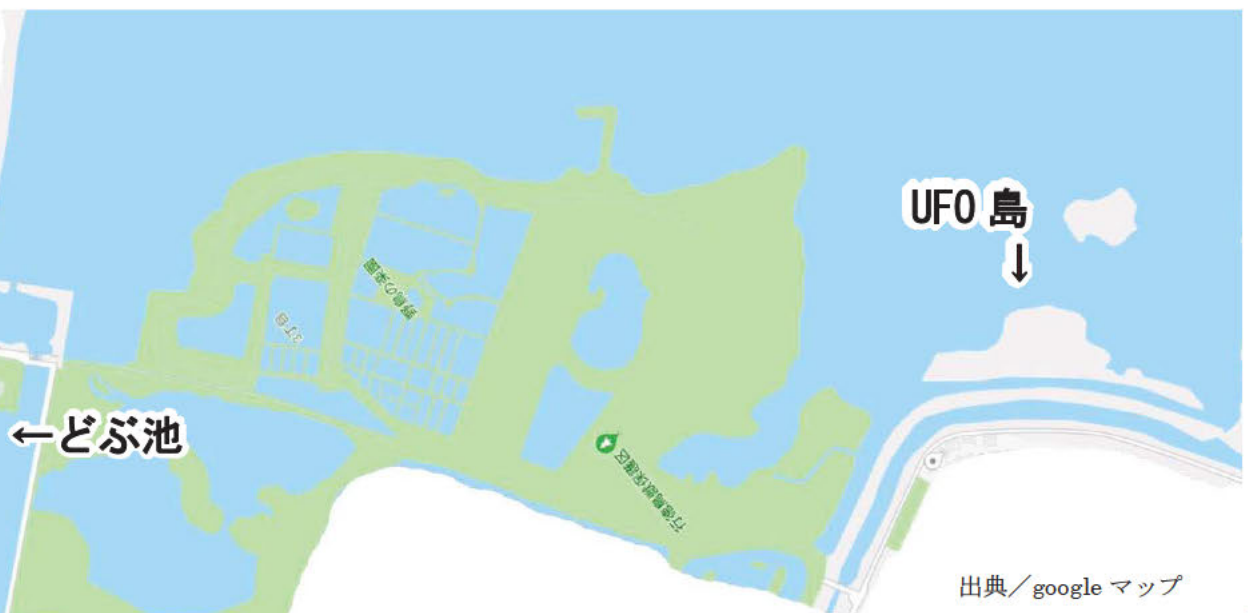
フォー



とぶりん

保護区の水域にある UFO 島の妖精。神出鬼没でその姿が見られることはあまりなく謎が多いが、高いスペックを持つことが知られている。双子の男の子と女の子で、いつも一緒に目撃される。

保護区全ての水の供給源であるどぶ池の主。心配性でつねに慌てふためいている。自ら汚れることをいとわず、みんなのために水を綺麗にしている。心の美しさは保護区で一番という噂。



出典/google マップ

♪♪♪ イベント案内 ♪♪♪

●→雨天中止 ★→荒天中止 ☆→小雨決行

●ボランティアデー(毎月第4土曜)

スタッフと一緒に保護区の管理作業をしてみませんか？

2/24、3/24(土) 13時～16時ごろ

集合：行徳野鳥観察舎前

作業内容は未定。開催日の3日前～前日に下記連絡先にてご確認ください。

お楽しみに！ **祝日でも開催！**

〈前回〉



←11/25 脱穀他
(参加者4名)

12/23 緑の国外周管理通路
落ち葉掃き
(参加者6名)

4/7(土) 桜の花の観察会

講師とともに保護区を歩きながら、生育するいろんな桜を観察します。

集合：行徳野鳥観察舎前

時間：10時～、13時半～ 計2回(内容同じ)



定例観察会

●定例園内観察会(毎週日曜・祝日)

集合：行徳野鳥観察舎前 13時半～15時半

★定例新浜探鳥会(毎月第2日曜日) 3月11日、4月8日

集合：行徳駅前の広場(改札出て左) 10時～ 持ち物：昼食、飲み物、

参加費：200円(18歳未満は無料) 「放水路経由コース」は+バス代400円(子供200円)

・「新浜保護区コース」保護区内→観察舎前／解散 13時半

・「放水路経由コース」バスで江戸川水路まで→保護区内→観察舎前／解散 15時半

◎主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京、千葉県野鳥の会

☆夕暮れ観察会(毎月第4土曜日) 2月24日、3月24日

集合：行徳野鳥観察舎前 16時半～18時半

●平日観察会(第1木曜日 ※祝日の場合は翌週) 3月1日、4月5日

集合：行徳野鳥観察舎前 10時～12時

●ミニガイド(毎週土曜日 ※第4土曜日・祝日・イベントがある日はお休み)

集合：行徳野鳥観察舎 13時半～14時

すずがも通信No.228(隔月発行) 2018年2月11日発行 * * * * * * * * * * * * * * * *

発行所

特定非営利活動法人行徳野鳥観察舎友の会

TEL:070-1491-9898(直通)

[千葉県行徳野鳥観察舎 〒272-0137 千葉県市川市福栄4-22-11 TEL:047-397-9046]

E-mail: tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp

URL: <http://gyotokubird.wixsite.com/npofgbo>

編集 鈴木陽子



Instagram



twitter

年会費

- ・賛助 3000円以上
- ・普通 2000円
- ・電子 1000円
- ・ジュニア(18歳以下)500円
- ・法人・団体 10000円以上

